

ぽれぽれ



大和町立吉岡小学校4年1組学級便り

2020.11.3(火)

文責:佐藤 亜希子

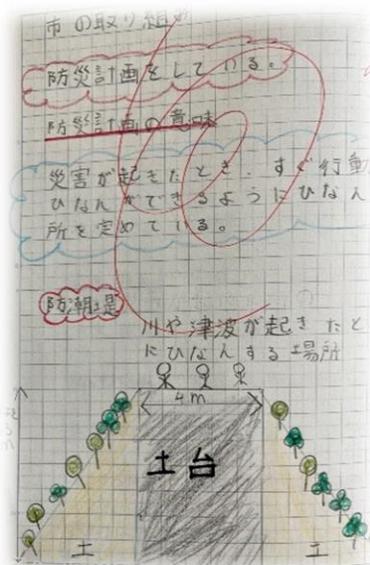
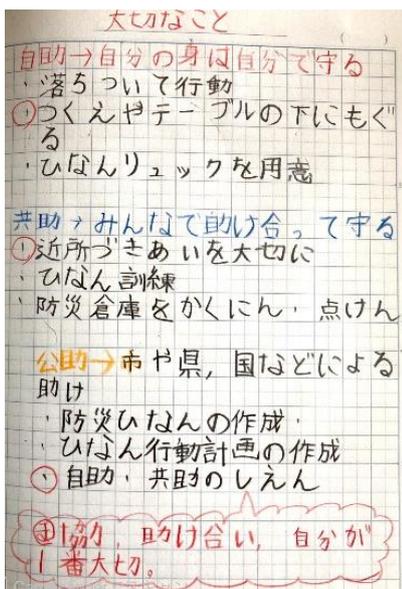


教室で待っています♪

朝晩は寒いくらいの日が続き、冬がぐっと近づいてきた感じがします。学校では、土曜日に消毒作業を終え、子供たちが登校する準備が整っています。今後、心配なことや不安なことが出てくるかもしれませんが、子供たちの心に寄り添い、これまで以上に楽しい学校生活を送ることができるよう力を尽くしていきたいと思います。保護者の皆様も、心配な点や不安な点、お困りのことが出てきた際にはいつでもご連絡下さい。

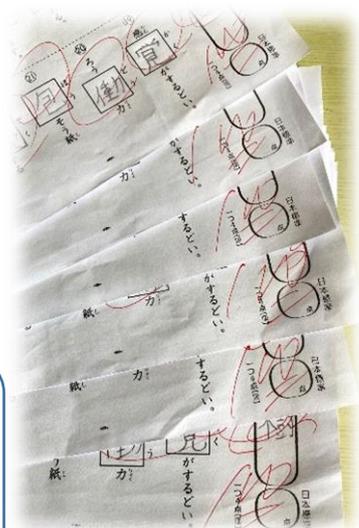
私たちは、感染症対策をしっかりと行っても、いつ、誰が感染しても不思議ではない状況にあることを頭に入れて今後生活していくことが大切になってくると思います。先日の学年だよりでもお知らせしましたが、今私たちに必要なことは、十分な感染対策を行いつつ、第2の感染症=「不安」や第3の感染症=「差別」が広がらないように準備をすることだと考えます。学級でも、子供たちの心の教育にこれまで以上に力を入れていきたいと思っています。どんな場面においても、相手のことを親身になって心配し、相手の気持ちに寄り添うことができるよう力を尽くしていきたいと思っています。今後とも、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

子供たちが楽しみにしている理科の実験や体育の学習など、楽しく授業できる準備をして、子供たちが登校してくるのを学校で待っています。安心して登校するようお声掛け下さい。



←

自主学習ノートです。記号や図を入れたり、色分けをしたりする工夫が見られるようになってきました。



→

漢字テスト2周目は100点だらけ!練習が結果に結びつくことをみんなで確認しました。継続は力なり!ですね。

キャンバス

～あなたはどんな色？～

2020. 11. 3

大和町立吉岡小学校

4年2組 学級だより



温かい場所

臨時休業に関するご理解やご対応ありがとうございます。今や新型コロナウイルス感染症は、感染症対策を行っていても、いつ・どこで・誰が感染しても不思議ではないものになりました。新型コロナウイルスを恐れるあまり、人を思いやる気持ちを忘れてください。恐れるべき対象は感染した「人」ではなく、「ウイルス」です。学校でも感染対策を徹底し、第2の感染症＝「不安」や第3の感染症＝「差別」が広がらないように、今まで以上に差別を許さないという心掛けをもって生活するよう指導していきます。また、体調が悪い児童がいた場合、相手のことを心配する、登校してきたときに「大丈夫。」と声を掛けるクラスであることができるよう担任として力を尽くしていきたいと思います。

子供たちにとって、4年2組が家庭の次に居心地がよい「温かい場所」「帰りたくなる場所」「ただいまと言いたくなる場所」になるように、今まで以上に子供たちに寄り添っていきます。

もっとよのなかのルール34

健康に気を付ける。大事な人のためにも。

健康に気を付けるのはだれのため？もちろん、自分のため。

そして、きみの大事な人や、きみを大事に思ってくれる人のため。

著：高濱正伸 「もっとよのなかのルールブック」より引用



スクラム

Vol.13

4年3組学級通信

2020/11/03

【霜月】

11月に入りました。臨時休業中の過ごし方はどうでしょうか？ご家庭でのご協力ありがとうございます。先週の水曜日（28日）に担任は出張で不在でした。前日には「先生がいない時こそ皆で力を合わせて過ごすんだよ。」という話をしてさようならしました。補欠に入った先生方、学年の先生方から立派に過ごしていたという話を聞きました。さすが我が自慢のクラスです。

さて、学校からのメールでもお知らせがあった通り、土曜日（31日）に校舎の消毒作業が行われました。安全に過ごせる環境が整っておりますので、登校再開になりましたら安心して登校させていただければと思います。

学年便りにも掲載しましたように、以下のことを学年で取り組んでいきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

これからの学校生活において、感染症リスクはゼロにならないということを受け入れた上で、可能な限り、リスクを低減させる努力をしながら学校教育活動を継続していきたいと思えます。私たちは、感染症対策をしっかりと行っても、いつ、誰が感染しても不思議ではない状況にあることを再認識することが大切であると考えます。今私たちに必要なことは、十分な感染症対策を行いつつ、第2の感染症＝「不安」や第3の感染症＝「差別」が広がらないように準備をすることだと考えます。学校といたしましても、子供たちの心の教育に、これまで以上に力を入れていきたいと考えています。相手のことを親身になって心配する、体調が戻った際には、それまでの大変さに共感し、「大変だったね」と寄り添えるようよう力を尽くしていきたいと考えています。

学校生活や家庭環境を含め、コロナ禍が子供たちに与える影響はとても大きいと感じています。子供たちの様々な不安を取り除くことができるよう、ご家庭と学校とで協力して見守ってきたいと思えます。これから後半、学習や生活面で大きく成長する子供たちに寄り添い、十分に力を伸ばすことができるよう担任一同努力して参ります。今後とも、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

席替え、会社の給料日、跳び箱、マット運動、毛筆、三角ベース、空気鉄砲の学習と楽しいことが目白押しな11月です。声掛けよろしく申し上げます。



※霜月※ November ※雪待月※

11月に入り、朝晩にはぐっと冷え込むようになってきました。校庭の木々は色づき始め、落ち葉が風に舞っています。11月7日(土)には立冬を迎え、暦の上では冬になります。和名「霜月」「雪待月」のとおり、冬の訪れを感じます。初雪を心待ちにしている子もいるのではないのでしょうか。

◆◆◆保護者の皆様◆◆◆

臨時休業に関するご理解やご対応ありがとうございます。お仕事等でお忙しい中、お子さんたちの学習や昼食の準備等、心より感謝申し上げます。これからの学校生活においては、可能な限り感染リスクを低減させる努力をしながら、教育活動を継続していきます。

学校便りと学年便りでもお知らせしたとおり、今必要なことは、できる限りの感染症対策をしつつ、第2の感染症「不安」や第3の感染症「差別」が広がらないようにすることだと思います。いつ、誰が感染しても不思議ではない状況であり、誰しもが不安になる日々が続いています。学校では、子供たちの不安を受け止めつつ、それを解消したり切り替えたりするにはどうしたらよいかを一緒に考えるようにしています。感染した人が身近に出たとしても、相手の体調を気遣い、その人が回復した際には相手の心に寄り添うことができるよう、心の教育により一層力を入れていきたいと思っています。

保護者の皆様も、ご家族のことやお仕事のこと等、たくさんのことを抱え、大変な状況が続いていらっしゃるかと思います。不安なことや気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。



◆◆◆4年4組のみんなへ◆◆◆

休業になって、お家ではどのように過ごしていましたか？勉強のこと、感染症のこと、これからの学校生活のこと…不安になったり、心配になったりすることもたくさんあるかと思います。そう思う気持ちも、自分の大事な気持ちの一つです。「こう思っちゃダメだ」と否定せず、まずは受け止めるようにしましょう。それから「じゃあ、どうしたらいいかな」を考えるといいですよ(^_^)b

自分が感染したとしたら、周りの人たちに何て言ってもらいたいですか？回復して学校に来られるようになった時、どうしてもらったら安心できますか？一人一人が思いやりの心を持ち、誰もが安心して生活できるようにしていきましょう！

勉強については、学校でいつも言っているとおりです。①自力でやってみる。②分からなかったら教科書で調べる。③答え合わせをして、間違った問題を確認する。④なぜ間違ったのかを考えてから解きなす。の流れです。まずは自力で！！分からないことがあっても大丈夫です。分かるようにするのが勉強ですからね。どうしても分からなかった部分はお家の人に聞いたり、学校が始まったら先生に聞いたりしてね。Mr.庄子に教わったように、声に出しながら書いて練習したり、九九が不安な人は特訓したり、楽しみながら勉強に取り組みましょう！では、学校で会えるのを楽しみにしています(*^-*)ノ

